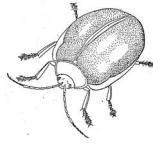


たんぽう



兵庫県加古川市でイシガケチョウを採集

山本 司

筆者は2017年9月17日加古川市内において、イシガケチョウ *Cyrestis thyodamas mabella* を採集しているので報告する。

加古川市内においての、イシガケチョウの記録については、「竹内隆・島崎正美, 2016. きべりはむし 39(1): 19-21」に詳細な記載があり、それを参考に探索したところ、加古川市平荘町の平荘湖周辺で、葉上に開翅して静止しているイシガケチョウを1頭発見し、採集した。

採集した個体は、左後翅に破損があるが、それ以外は比較的綺麗な個体である。

なお、この日に発見できた個体は、この1頭のみであったが、採集した日の1週間前にも同地で、イシガケチョウが地面に開翅して静止している姿を目撃している。採集した個体と同一個体かは不明であるが、左後翅の破損は無かった。

今後、加古川市内でのイシガケチョウの発生について、注目していきたい。



兵庫県加古川市平荘町, 17. IX. 2017, 筆者採集保管

○参考文献

竹内隆, 島崎正美 2016, きべりはむし 39(1), 19-21

(Tsukasa YAMAMOTO 兵庫県加古川市)

兵庫県加古川市でアシナガモモトスカシバを確認

柴田 剛

筆者は、加古川水系の上流から河口までと、主要な支流を対象に昆虫や植物の写真撮影を行っているが、加古川下流の河川敷(加古川市八幡町)でアシナガモモトスカシバ *Macroscelesia longipes yamatoensis* を写真撮影するとともに、採集することができたので報告する。

本種は、幼虫がゴキヅルという水辺に生えるつる植物に虫エイをつくって生育するものであり、ゴキヅルが近年減少していることから生息地がかなり限られているようで、国のレッドデータブックでは「絶滅危惧Ⅱ類」になっている。

最初に見たときは変なアブがいるなと思ったが、採集用具を持っていなかったので写真撮影し、帰って確認したところ本種であることが分かった。

その後も、同じ場所に写真撮影に行くたびに目撃するがなかなか採集できず、何度目かに出会ったときによりやく採集できたものである。

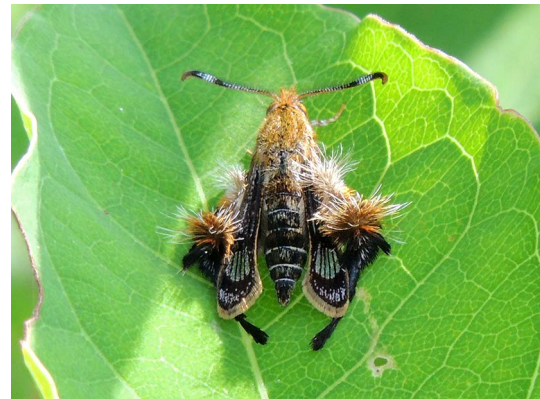
【撮影・採集データ】

25. VI. 2017 写真撮影

28. VI. 2017 写真撮影 (図)

9. VII. 2017 写真撮影

16. VII. 2017 写真撮影・採集



(Takeshi SHIBATA 兵庫県明石市)